

2014/6/30

広場促進研究プロジェクトチーム（以下 PT） 全体会キックオフ

日時：2014年6月30日 10:30~13:00

場所：ワテラスコモンホール

参加者：牧村、高宮、槻橋、馬場、西田、山崎、高地（記録）（敬称略）

■ 事務局長挨拶、メンバー自己紹介

広場を作って何をしたいのか、誰にメリットがあるのか、ビジネス、公益 etc.様々な視点、見識を持ちより、パブリックという概念に対して突破口となる分科会にしたい。

■ ミッションを共有

「広場の広場」「広場」を広く議論する場をつくる

■ 事例研究について

報告をもらいたいゲストや各自関わっている事案候補の検討。

■ 制度整備に関する討議について

現状でも実際には法律レベルでは自由だが、ガイドライン・条例レベルの規制が多い状況。何にどう働きかければいいのかを検討し提言をまとめていく。

■ スケジュールの検討

事例研究や制度整備の検討を行い、15年3月には報告書、4月以降はリパブリック・イニシアティブのフォーラムでの発表準備を行う。

■ 広場の現状、今後の PT の活動についてディスカッション

公園を使いたい人が全くいないのではなく、近所の人でさえニーズがわかっていない、そもそも使えないものだと思っている場合が多い。ハードの部分は行政の管轄としてもソフトやアクティビティを考えることはできるので、現場レベルの議論を進める。大都市でマーケットがあるという土地と、ハンデのある地方のギャップ、地域差も大きい。また、開発型のもは手が出しやすいが、古くからある街の方がより深い問題を抱えている場合も多い。整理したいポイントは、

- ・ 既得権益とどう対峙していくか。
- ・ 受益者は誰か、管理者は受益者になりうるのか。
- ・ 土地ごとの状況・問題に個別対応するのが基本か、普遍的な方法が見出せるのか。
- ・ それぞれ将来的に、社会と自分たちにとってどこで利が生み出せるのか。継続的に収益が街に落ちる仕組みを考える。